

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	247,009	257,891	10,883
未収金	-	-	-	地方債	53,098	64,642	11,544
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	7,312	6,836	△476
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	186,598	186,412	△185
有形固定資産	1,417,263	1,619,011	201,748	固定負債	1,565,831	1,301,963	△263,867
土地	1,417,263	1,619,011	201,748	地方債	566,502	501,860	△64,642
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	69,121	56,309	△12,812
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	930,207	743,795	△186,412
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	1,812,839	1,559,855	△252,985
土地	-	-	-	純資産	△366,200	59,156	425,356
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	29,376	-	△29,376				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	純資産の部合計	△366,200	59,156	425,356
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,446,640	1,619,011	172,371
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	1,446,640	1,619,011	172,371				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

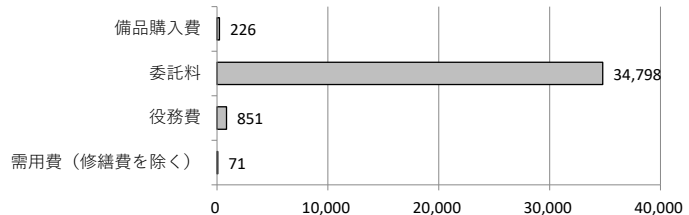
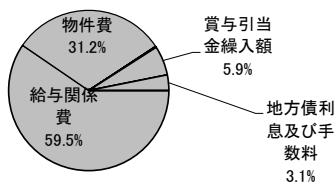
事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
	9.49人	0日	0日	68,197
給与関係費等	68,197千円	0千円	0千円	
内、時間外勤務手当	1,413千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	健都イノベーションパーク画地「ア」の売却、所管換え等の結果、増額となりました。
重要物品	ゼロ系新幹線を図書館に移管したことにより、皆減となりました。
その他固定負債	正雀下水処理場跡地購入に係る長期未払金のうち、令和3年度支払い分を流動負債に振り替えたことにより、減額となりました。

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	差 B-A
			A	B	
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		△ 64.1	99.5	△ 22.3	△ 121.8

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

行政コスト計算書においては、当年度には健都ルールサイド公園及び吹田市立健都ライブラリーの指定管理を開始したこともあり、物件費の割合が増加しました。
 ・貸借対照表においては、資産の増加及び負債の減額に伴い、純資産がプラスとなりました。
 ・健都イノベーションパーク画地「ア」の売却等によりキャッシュフローが大幅な黒字となった結果、一般財源充当比率がマイナスとなりました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

財務諸表の分析結果からは直接的には課題は見えないものの、事業全体として次のような課題が挙げられます。

- ・健都イノベーションパークの残画地についての、引き続き誘致に向けた検討を進めること
- ・産学官民が連携し、新たなヘルスケア産業の創出と市民の健康にかかる行動変容の好循環を生み出すこと